

私は小さなかんこうたいし

豊見城市立豊見城小学校 3年生 島袋 莉安

「りあんは沖なわのかんこうたいしだね。」

台わんに行ったとき、お母さんがいいました。

今年のお正月、台わんの友だちに会うために、お母さんと二人たびをしました。その台わんの友だちは、去年の夏に沖なわに来てくれた人たちです。

台わんにつくと、沖なわが大すきな台わんの人から、ヨーヨーカードというのをプレゼントされました。このカードは、とってもべんりなカードで、台わんにいる間、これ一まいでOKでした。電車やバスやタクシー、ロープウェイや船ののりつぎや、コンビニ、おみやげを買うときも使えます。台わん語がわからなくても小ぜにをもっていなくても、これ一つあれば安心です。しかも二わり引き。

沖なわにも、こんなカードがあれば、たくさんのかん光客が安心して旅行できるんじゃないかなと思いました。

台わんについたその日、私は日本語の先生になりました。夜の小学校に、たくさんのかん光客が日本語を習うために来ていました。

そこでなんと、去年、沖なわのかん光いけんはっぴょうコンクールではっぴょうした私の作文が教科書になったのです。

台わんの人ばかりよこうがすきで、日本に行くために日本語を習っているそうなので、沖なわに来てくれるように、沖なわのいいところをたくさんしょうかいしました。次の日は、公みん館で、別の人たちに沖なわをしょうかいしてきました。そのうちのだれかが、沖なわに来て、ほかの人たちにも沖なわのいいところをつたえてくれるといいなと思いました。

台わんにいる間、私は台わん人の友だちのおうちにとまって、そこでイーシンという小学生の女の子と友だちになりました。私は台わん語がしゃべれないし、イーシンは日本語がわかりません。だけど、あそんでいくうちに、なんとなく言葉や気持ちが通じていきました。おわかれのさいごの夜、二人は「また、いつか、いっしょにあそぼうね。」とやくそくしました。イーシンが、こんどは、沖なわに来てくれるといいなと思いました。

台わんは、沖なわから一番近い外国です。もし、台わんの小学校と沖なわの小学校で、交りゅうできたら、大人になっても、どちらかがあそびに来て、いつまでも友だちでいられると思います。私みたいに、もっともっとたくさんのかん光客の小学生どうしが仲よくなっしてほしいです。

私は、小さなかんこうたいし。沖なわに、いろんな人たちが来てくれるように、これからも沖なわのいいところをしょうかいしていきたいです。